

目の相談室 のびのび



福島県立視覚支援学校
地域支援センター
H31.4.8 No.1

「地域支援センター 目の相談室 のびのび」新設！

春陽麗和の季節となりました。さて、目の相談室だより「のびのび」第1号では、教育相談や支援に関する取り組みについてお知らせいたします。

今年度から本校に「地域支援センター 目の相談室 のびのび」が設置されました。昨年度まで教育相談支援室として行ってきた取り組み同様、視覚障がい教育を専門とし、見えにくさを抱えた乳幼児児童生徒の教育相談や支援、成人の方へのサポートを行います。

県内唯一の視覚障がい教育のセンターとしての機能をなお一層充実・発展し、関係機関と連携しながらサポートして参ります。よろしくお願いいたします。

地域支援センター 目の相談室 のびのび

相談専用 TEL 080-7347-3908 mail shien-gr@fcs.ed.jp
〒960-8002 福島市森合町6-34

※地域支援センターは県立視覚支援学校に設置されています。

学校 TEL 024-534-2574 FAX 024-533-2470

ホームページ <https://fukushima-sb.fcs.ed.jp>

地域支援センターの取り組み

見えにくさからくる困り感を一緒に考え、解決していきます。ご希望があればいつでも担当者までお問い合わせください。

就学前のお子さんと保護者



- ◆見えにくさのある子どもの育て方を知りたい。
- ◆就学に不安がある。

学齢のお子さんと保護者



- ◆黒板や教科書の文字が見えにくい。
- ◆進路に不安がある。

教育・保健・福祉等関係者の方々



- ◆見えにくさがある子どもの学習指導や支援について悩んでいる。

成人の方



- ◆視力が低下して、職場で不便を感じている。
- ◆途中で目が不自由になったが、自分でできる技術を身に付けたい。

○来校相談・支援

- ・のびのび教室
- ・個別相談 等

※本校へおいでいただき、相談・支援を行います。進学や進路でお困りの成人の方の教育相談、職業・就労相談も行っています。



○訪問相談・支援

- ・幼保学校等訪問

※学校等へお伺いして相談・支援を行います。

○のびのび教室サポートクラブ

各地域で行うサテライト相談会です。詳細は、チラシをご覧ください。



のびのび教室サポートクラブについて



本校の担当者が各地域に出向いて行う「サテライト教室的相談会」です。

対象 見えにくさのある乳幼児、児童生徒や成人の方、保護者、ご家族、指導・支援にかかわる先生方、関係者の方

【第1回のびのび教室サポートクラブ】

時間 14:00~15:30

※参加者数によっては時間が前後することがあります。

相談内容 視機能評価、補助具の選定及び使い方の指導等、拡大教科書の文字の選定に関すること、点字の指導、歩行指導、あそびや学習、進路や就労に関すること等

県北地区	7月11日(木)	福島市保健福祉センター
県中県南地区	6月13日(木)	須賀川市教育研修センター
会津地区	5月16日(木)	会津若松合同庁舎
いわき地区	6月6日(木)	いわき市総合教育センター
相双地区	5月21日(火)	鹿島保健センター

※参加申し込みを希望される場合は、「地域支援センター目の相談室のびのび」までお申し込み下さい。

のびのび教室 利用のご案内

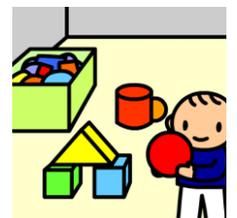
遊びを通して豊かな感覚や手指・身体の使い方を育てる支援を行ったり、就学に関する情報提供を行ったりしています。

対象 0才~就学前までのお子さんと保護者の方、関係者の方

開催日 毎週火曜日

10:00~12:00 及び 13:30~15:30

※利用には予約が必要です。1週間前までにご連絡下さい。



~お知らせ~ ※詳細は後日改めてお知らせいたします。

○体験学習会・学校説明会を実施します。

「小学部・中学部体験学習会」 日時：6月25日(火) 10:00~14:20

「高等部学校説明会」 日時：7月 4日(木) 10:00~15:10

○「のびのび教室親子交流会」を実施します。

乳幼児児童生徒が体験活動を行いながら交流を深めたり、保護者同士が交流を深め、情報を交換したりする場を提供します。

対象：乳幼児、小中学生とご家族

日時：8月 3日(土) 10:00~14:45

○視覚障がい教育に携わる先生方を対象とした研修会を実施します。

「現職教育研修会」 月日：7月31日(水)

講師：愛知教育大学准教授 青柳まゆみ先生

内容：講演と演習を予定しています。

「地域支援センター特別支援教育研修会」 月日：11月29日(金)

講師：県立医大医師 森 隆史先生

内容：「見えにくさの原因となる代表疾患と教育の現場での留意点」

